

# 「見えないだけ」 要点と 期末テスト対策ポイントまとめ

## 「見えないだけ」 基本情報

「見えないだけ」基本情報

作者: 詩人の牟礼慶子 (むれけいこ)  
 詩の形式: 口語自由詩  
 使われている表現技法: 対句法・擬人法・体言止め  
 構成: 第一連と第二連からなっている。

## 「見えないだけ」 テスト対策ポイント

### テスト対策ポイント① 詩の形式について

「見えないだけ」の詩の形式は、「口語自由詩」。

「口語」というのは、今の日本で普通に使われている話しことばのこと。

★口語に対して、「昔の書きことば」のことを「文語」というよ

ぶんご  
**文語**

前にさしたる花櫛の  
花ある君と思ひけり



書き言葉

こうご  
**口語**

前髪にさしてた花櫛の  
花みたいだなあ、と思ったんだ



話し言葉

★昔は文章を書くときは文語で、話すときは口語を使っていたよ。  
 でも現代では文章を書く時も話す時も口語になっているんだ。  
 文語は「～たり」とか「～けり」で終わり、口語は「～だ」とか「～ので」終わるので  
 文の終わり方で見分けよう



「自由詩」とは、文字通り「自由に」思いつくままに言葉を並べて作った詩ということ。  
★自由詩に対して、「5・7・5」というように型が決まって作られている詩を「定型詩」というよ。

「口語」で書かれた「自由な詩」だから、「口語自由詩」だね。

## テスト対策ポイント② 使われている表現技法について

「見えないだけ」の詩には、いくつかの表現技法が使われているよ。  
表現技法とは、印象を強くしたり、リズムを良くしたりして工夫する表現の方法のことだよ。

### 1. 対句法

対句法とは  
似た表現や、関係する表現を並べることで、リズムを作ったり、印象を強くしたりする効果がある表現技法のこと。

第一連の1・2行目と、3・4行目は、「似たような言い回し」になっているね

空の上には  
もっと青い空が浮かんでいる。

波の底には  
もっと大きな海が眠っている。

「空の上」に対して「波の底」。  
「もっと青い空」に対して「もっと大きな海」。  
「浮かんでいる」に対して「眠っている」。  
こうして似たような言い回しで、印象を強くしているんだ。



## 2.擬人法

擬人法とは

人間以外のものを人間のように例えることで、生き生きとさせて印象を強く与える効果がある表現技法のこと。

第一連の4行目には、「海が眠っている」という表現があるね。

本当なら、海は人間（生き物）ではないから「眠る」ことはしないよね。

海を人間（生き物）に例えて、「眠っている」という言い方をすることで、詩が生き生きとして、印象に残るんだね。

### ③体言止め

体言止めとは

文章の最後を名詞で終わらせる表現技法。

リズム感が出て、印象を強める効果がある。

第一連の6行目「優しい世界」、

8行目の「美しい季節」、

10行目の「新しい友だち」。

どれも「名詞」で終わっているね。

### テスト対策ポイント③ 作者の伝えたいことについて

「見えないだけ」は、第一連と第二連から出来ているよ。

第一連に書かれていること



第一連には、作者が考える「確かに在るもの」について5つのものが書かれているよ。

第一連に書かれている「確かに在るもの」5つとは？

- ・ もっと青い空
- ・ もっと大きな海
- ・ 優しい世界
- ・ 美しい季節
- ・ 新しい友だち

第二連に書かれていること

第二連はたった2行しかないけれど、ここに作者の「伝えたいこと」がまとめとして書かれているんだ。

「あんなに確かに在るものが  
まだここからは見えないだけ」

第一連に書かれていた5つのものが、「確かに在る」けど、「まだここからは見えないだけ」

つまり、「ここにいるだけでは見えないままだけど、一歩踏み出せば見えるようになる」と伝えたいんだね。

作者の伝えたいこと

「この世の中には、まだ知らない素晴らしいものがたくさん溢れているから、  
一歩踏み出してみよう」



## テスト対策ポイント④ 使われている言葉の意味について

「ことばがはぐくんでいる優しい世界」とは？

「はぐくむ」とは、「養って育てる」ということ。  
胸の奥で、ことばが優しい世界を育てているということだね。

たくさん本を読んだり、色んな人の話を聞いたり、話し合ったり、自分の心の中で考えたり…「ことば」に触れたり、使ったりすることで心は成長するよね。  
そうやって他人を思いやれるようになっていたりすることを、「胸の奥で優しい世界が育っている」と表現しているんだね。

「待ちかねている新しい友だち」とは？

「かねる（兼ねる）」とは、「〇〇しようとしても、することがむずかしい」ということ。

「待ちかねる」も「待つ」＋「かねる」で、「待つ事がむずかしい」という意味になるんだ。

「見えないだけ」では「待ちかねている新しい友だち」というふうに使われているね。  
これは、新しい友だちが「早く会いたくて、待つ事がむずかしくなっている」ことを表現しているね。

例えば、転校する先の学校で出会う予定の新しい友だちとか、  
中学を卒業して、高校に入ったら出会う予定の新しい友達とか…。  
そんな「少し遠くて」新しい友だちが出会いを待ちかまえているよ、ということを伝えたいんだね。



## 「見えないだけ」テスト対策まとめ

### 「見えないだけ」まとめ

- 作者は牟礼慶子（むれけいこ）
- 詩の形式は「口語自由詩」
- 対句法・擬人法・体言止めが使われている。
- 作者の伝えたいことは、「世の中にはまだ知らない素晴らしいものがたくさんあるので、一歩踏み出してみよう」ということ。
- 「はぐくむ」とは、「育てる」ということ。
- 「待ちかねている」とは、「(早く出会いたくて) 待ってられない」ということ。

